

製品名: Fas ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01975**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.14mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 38 kDa; Observed MW: 40-50 kDa

抗原情報

遺伝子名	FAS
別名	FAS; ALPS1A; APO-1; APT1; CD95; FAS1; FASTM; TNFRSF6
遺伝子 ID	355
SwissProt ID	P25445
免疫原	ヒト Fas の合成ペプチド

背景

TNFSF6/FASLG の受容体。アダプター分子 FADD は活性化受容体にカスパーゼ 8 をリクルートする。結果として形成される細胞死誘

導シグナル複合体 (DISC) は、カスパーゼ 8 のタンパク質分解活性化を引き起こし、その後、アポトーシスを媒介するカスパーゼ (アスパラギン酸特異的システインプロテアーゼ) のカスケード反応を開始する。

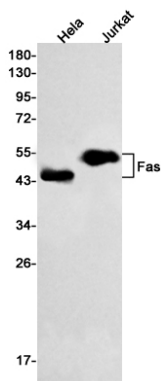
研究分野

細胞生物学

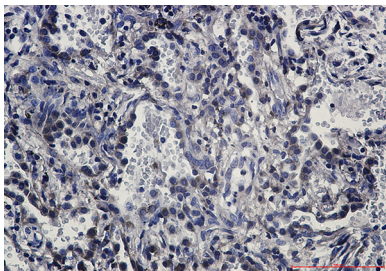
画像データ



Fas 抗体と DAPI (青) を使用した HL-60 中の Fas (緑) の免疫細胞化学分析。



Fas 抗体を使用した HeLa、Jurkat 溶解物中の Fas のウェスタン プロット分析。



Fas 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。